



世界の森林生態系保全と、地球市民としての 社員の意識啓発に取り組んでいます。

地球環境を保全するには、環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し、高めていくことも重要です。リコーグループは、環境NPOや地元住民とのパートナーシップのもとに、世界各地で「森林生態系保全プロジェクト」を開催しているほか、世界各極の統括会社や販売会社が主体となつた環境社会貢献活動を推進しています。また、日本では「環境ボランティアリーダー養成プログラム*」を実施し、社員一人ひとりの地球市民としての意識啓発を推進することにより、社員主体の環境保全活動が地域社会に根付くことを支援しています。

*:69ページ

森林生態系保全プロジェクト

《リコーグループ／グローバル》

地球上には、森林、草原、湖沼、珊瑚礁、海洋など、様々な生き物の生息地があり、それぞれに特有の生態系が保たれています。生態系が崩壊すれば、人類の生命維持に必要な、水・大気・気候・土壤などの自然環境も崩壊します。リコーグループは、多くの生態系の中でも、とりわけ生物多様性が豊かな「森林生態系」に注目して、1999年度より環境NPOや地元とのパートナーシップのもとに「森林生態系保全プロジェクト」を開催しています。2004年度は、アムールトラをはじめとするさまざまな生物と人が共生する森林の保全

を目的とした、「北限のトラ生息域タイガ保全プロジェクト」を開始しました。また、活動の資金は、継続して社会貢献を行うためにリコーが設けた「社会貢献積立金」から拠出されています。株主総会での承認のもと、毎年の利益から年間配当を差し引いた金額の1%（上限2億円）が積み立てられます。森林生態系保全プロジェクトは環境ホームページのECO TODAY*でも詳しく紹介しています。

* <http://www.ricoh.co.jp/ecology/ecotoday/>

リコーグループの森林生態系保全プロジェクト

| 実施部門 | 国名 | プロジェクト | | NPO／パートナー | |
|---------------|---------|-----------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 名称 | 活動内容 | 名称 | 概要 |
| リコーコーポレーション | メキシコ | シェラ・タラウマラ水源林保全 | 150万人が暮らし60万ヘクタールの農地が広がる北メキシコの貴重な水源林の保全と回復。 | WWF | 生態系の保全から温暖化防止まで、生物多様性の保全に幅広く取り組む、世界最大の自然保護NPOで170を超える国々で活動している。 |
| リコーエurope | イギリス | 「Wood Land Trust」の原生林保護キャンペーンへの参加 | 英国内の森林と生物多様性の保全を目的とする原生林保護キャンペーンの支援。 | Wood Land Trust | 1972年に設立された英国の森林保護団体。1,000ha以上、約20,000haへクタールにおよぶ原生林の保全を行っている。 |
| リコーアジア・パシフィック | オーストラリア | ワリモー公立学校の環境教育プログラム「アースキーパー™」の支援 | 生態系の仕組みやオーストラリアの環境問題を学ぶ子供向けプログラムの開催。植林などを実施。 | ワリモー公立学校 | 森林などの自然保全を通じて子供たちの環境教育を行っている。「アースキーパー™」と呼ばれる、子供たちが自然と調和しながら生きるためにスキルを身に付けるプロジェクトをメインに展開。 |
| リコー | フィリピン | 熱帯雨林回復* | フィリピンに代表される森の生物達と人が共生していくことのできる豊かな森の回復。 | コンサベーションインターナショナル | 生態系と人の関わりを重視して環境問題を解決することを目的に設立。30カ国以上、1,000名以上のスタッフが生物多様性の保全に取り組んでいる。 |
| | ガーナ | 熱帯雨林回復* | 日陰で育つかかオを利用した持続的森林農業による、人と生き物達が共生できる森の復元。 | | |
| | マレーシア | 熱帯林・オランウータン生息域回復* | オランウータンに代表される、絶滅の危機に瀕している生物の生息空間を拡大。 | WWF | 生態系の保全から温暖化防止まで、生物多様性の保全に幅広く取り組む、世界最大の自然保護NPOで170を超える国々で活動している。 |
| | 中国 | 温帯林・パンダ生息域回復* | パンダを代表とする437種の脊椎動物や4000種の植物など貴重な生物のみを残し、絶滅種をなくす。 | | |
| | 日本 | 長野県アフアンの森保全* | クマ、ヤマネなど多様な生物が生きてることのできる広さと食べ物があり、人も親しむことができる天然林の維持。 | 財団法人C.W.ニコル・アフアンの森財団 | 「人と多様な生き物たちが共生できる森づくり」をテーマに、森林の生態学的調査や研究、保全活動を実施。 |
| | 日本 | 沖縄やんばる森林保全* | ヤンバルクイナに代表される、世界でここにしかみられない貴重な生物のみを残す。 | やんばる森のトラスト | 生物多様性に富む沖縄本島北部地域で、野生生物のためのトラスト地を確保し、生息環境の保全と自然保護の推進に寄与することを目的に活動。 |
| | ロシア | 北限のトラ生息域タイガ保全* | アムールトラをはじめとする様々な生物と人が共生する豊かな森の保全。 | FoE Japan | 国際環境NGO「Friend of the Earth」の日本团体。海外での砂漠化防止、森林保護活動や日本国内の林業支援を実施。 |
| | スリランカ | 世界遺産地域の森林保全と復元 | スリランカオナガの住める森を残し、拡大する。 | スリランカ野鳥生物学グループ | スリランカにおける鳥類生態研究、野鳥を通じた国内外の自然保護活動を展開。 |
| | バングラデシュ | さとやまの復元 | 子供の教育と植林・育苗の仕事の提供。 | ボーシュ | バングラデシュにおいて、特に子供を対象にした環境教育を展開。植林活動も実施。 |

* 各プロジェクトの特徴には、その地域でのFLAG Species（象徴的な生物）を記しています。

プロジェクトはFLAG Speciesの保全だけでなく、その地域の森林生態系すべてを保存するために取り組んでいます。

*「社会貢献積立金制度」の対象プロジェクト



INTERVIEW ⇒ NGO 様

森林生態系保全プロジェクト事例
北限のトラ生息域タイガ保全

FoE Japan 様

絶滅危惧種アムールトラの生息する
ビキン川流域の森林生態系保全
プロジェクトがスタートしました。



国際環境NGO FoE Japan
ロシアタイガプログラム
プログラムディレクター
野口 栄一郎 様



ビキン川流域:ハバロフスクとウラジオストクの間にあり約13,000平方キロ、ほぼ東京、神奈川、千葉、埼玉を合わせたくらいの広さ。

豊かな自然に恵まれた
極東ロシアを襲う、
深刻な伐採問題

「FoE Japan」は、リコーとのパートナー・シップにより、2004年5月、絶滅危惧種であるアムールトラの生息する極東ロシア・ビキン川流域の北方林を守る森林生態系保全プロジェクトをスタートしました。日本とは日本海をはさんで対岸に位置する極東ロシアには、現在でも広大な天然林が自生し、多様な生態系を維持しています。野生では世界に約380頭しか生存しないと言われる大型のトラ、アムールトラをはじめ、稀少な動物も数多く生息する非常に貴重な地域です。しかし、旧ソ連邦崩壊後、外貨獲得のための森林伐採が増加し、生態系が破壊の危機に直面しています。

地域の人々の暮らしと自然環境が、
共に守られることを目指して

プロジェクトの第1段階として、先住民・ウデヘ族の人々や地域のNGO、研究者によるプロジェクトへの理解を呼びかけ、協調関係を構築し、アムールトラなど絶滅危惧種についての調査を進めています。また、当地域の自然環境の重要性をアピールするため、ロシア政府への働きかけを行い、日本やロシアに向けての広報活動も展開しています。さらに、地域の人々が森林伐採に頼ることなく経済的に自立が出来るよう、エコツアーや森で採れるロ-

ズヒップなどのハーブやハチミツのフェアトレード*の支援も計画しています。プロジェクトの最終的な目標は、この地域の世界自然遺産への登録です。ユネスコもアムールトラの存在や周辺地域の自然の価値を高く認識していることから、登録前の必須条件である国内法での保護指定がされるよう関係各局に働きかけを行うなど、歩ずつ着実に取り組みを進めています。

* 一般的に、途上国などで貧困に追いやりられている弱い立場の生産者が、正当な報酬を安定して受け取り自立することを目指した貿易のことです。

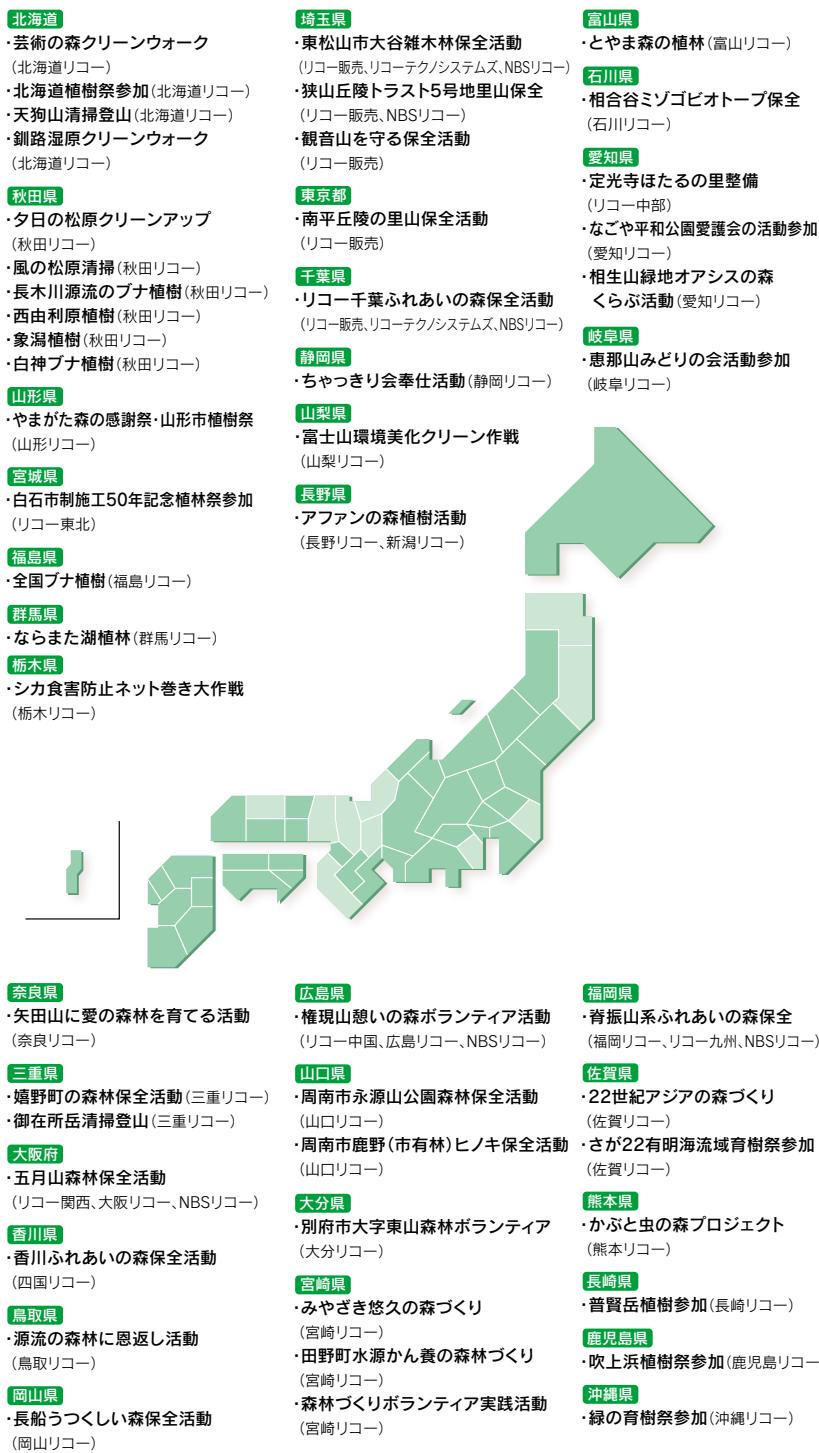
※プロジェクト詳細は
http://www.ricoh.co.jp/ecology/society/report/talk_02/



日本のリコーグループ販売会社による、環境ボランティア活動の広がり

リコーグループは、2004年度までの環境社会貢献の目標に、「森林保全活動の推進」を盛り込んでいます。2004年度は、販売会社の活動が活性化しました。

森林保全活動マップ



秋田県八森町「白神ブナ植樹活動」

《秋田リコー》

10月10日、「白神ネイチャー協会」主催の植樹祭が白神山地で開催され、全国から約150名のボランティアが集まりました。秋田リコーからは、社員・家族含めて10名が参加し、白神山地の自然が次世代に受け継がれるように願いをこめて、ブナの植樹を行いました。



埼玉県東松山市「雑木林保全活動」

《リコー販売／リコーテクノシステムズ／NBSリコー》

12月11日、第8回「東松山市大谷雑木林保全活動」が行われ、社員12名が参加しました。クヌギ・コナラのどんぐり林にヒサカキが増えて、光がさしまなくなつたため、約50本の伐採を行いました。この作業によって、どんぐりの新芽が生育できる環境が整いました。

国内活動事例

**千葉県千葉市「ふれあいの森保全活動」
《リコー販売／リコーテクノシステムズ
／NBSリコー》**

3月19日、千葉市若葉区の「リコー千葉ふれあいの森」で、社員24名が参加して第5回目の森林保全活動を行いました。この活動グループは、千葉県より里山条例に協力する団体として、企業のボランティアグループとしては初めて認定登録されました。今後は年間計画に従って、毎月1回の保全活動を行っていく予定です。



**静岡県静岡市「ちゃっきり会奉仕活動」
《静岡リコー》**

11月7日、日本平での活動に社員5名が参加し、ハイキングコース沿道の草刈りを行いました。草刈りを行った結果、ハイカーたちが快適にレジャーを楽しめるうえ、悩みの種だったごみの不法投棄が減り、周辺の景観美化にもつながりました。



**岡山県「長船うつくしい森保全活動」
《岡山リコー》**

8月21日、国土緑化推進機構が提唱した「森林ボランティアの日」にちなんでボランティアによる森林整備(下草刈り)が邑久郡長船町「長船うつくしい森」で行われ、社員11名が参加しました。2mほどに伸びた雑草を1mの大鎌で引っ掛けで切る作業に、最初戸惑っていた参加者たちも次第に慣れて、有意義な時間を過ごしました。



**長野県長野市「アファンの森植樹活動」
《長野リコー／新潟リコー》**

5月8日、「C.W.ニコル・アファンの森財団」のどんぐり幼木を移植する活動に8名が参加しました。森の一部は、苗木の生育の実験地となっており、今回は調査用に移植を行いました。好天にもめぐまれ、150本の移植はスムーズに進みました。今後は、移植した場所の下草刈りなどを実施する予定です。



**香川県「ふれあいの森保全活動」
《四国リコー》**

国有林の保全管理に協力する活動である「香川ふれあいの森」保全を行い、3月、5月に合わせて14名の社員が参加しました。間伐、下草刈り、沿道の草刈、渓谷のごみ拾い、看板の清掃などを行いました。



**長崎県「普賢岳植樹活動」
《長崎リコー》**

11月7日、雲仙・普賢の森植林ボランティアが行われ、社員、家族あわせて49名(うち子供19名)が参加しました。多くの子どもたちが参加し今後もより大きな活動へと繋がっていくものと頼もしく感じられる機会となりました。



■ 海外活動事例 ■



小学生の植林活動支援

《レニエオーストラリア／オーストラリア》
オーストラリアでは、子供に環境保全や樹を育てるこの楽しさを啓発するために、「学校の植樹日」が設けられています。リコーグループの販売会社レニエオーストラリアは、7月23日の学校の植樹日に、メルボルンにあるエルサム東小学校に150本の苗木を寄付し、50名の児童と一緒に、同社の社員が苗を植えました。



子供達との海岸清掃と自然観察

《リコーアジア・パシフィック、リコシンガポール／シンガポール》
アジア・パシフィックの地域統括会社リコーアジア・パシフィック(RA)と販売会社リコシンガポール(RSP)は2004年8月、シンガポールのラウマラ森林の海岸清掃を行いました。社員や家族127名、イスパリングハーツ・ファミリー・サービスセンターの子供達20名が参加しました。自然保護団体「グリーンボランティア・ネットワーク」に引率され、果実やハーブなどの香りにあふれる森や、マングローブの原生林などを散策し、自然の素晴らしさを感じた後、海岸の清掃活動を行いました。



水源林保全活動

《リコーコーポレーション／メキシコ》
メキシコの地域統括会社リコーコーポレーションは2004年2月から、WWFとともに、メキシコ・シエラタラウマラ森林の保全活動に取り組んでいます。6万平方キロメートルに渡って広がるタラウマラ森林は、北メキシコの60万ヘクタールの農地を潤す水源林となっていますが、森林伐採などによる砂漠化が進み、水源が枯渇するという危機に直面しています。リコーコーポレーションとWWFは、タラウマラの人々とのパートナーシップを構築し、自発的な森林保全につなげることが重要だと考えました。2004年度は、現地のリーダー育成による森林保全の推進や、地域の経済発展と環境保全の両立に向けて、今後の活動に対する現地の理解と協力を求めました。



生物多様性保護のための森林調査支援

《リコーフランス／フランス》
フランスの販売会社リコーフランスは、生物多様性保護のために各国で森林調査を行っているNPO「プロナチュラ」を支援しています。2004年度は、樹冠の調査などに使用する熱気球(Canopy Glider)の製作費を援助しました。

環境ボランティア活動の広がり

《リコーグループ／日本》

環境ボランティアリーダーの活動は、社員や家族・友人との活動から、地元の子供達や地域社会を巻き込んだ活動へと広がりを見せています。ボランティア活動を実施する事業所も、生産拠点から全国の販売会社へと拡大しています。

環境ボランティアリーダーの活動



相模川周辺のクリーンアップ／戸田事業所
6月2日、神奈川県厚木市にある戸田事業所周辺の「相模川河川敷・遊歩道」で行われたクリーンアップ活動に、社員16名が参加しました。



秦野農地リフレッシュ／秦野事業所
9月18日、神奈川県秦野市にある秦野事業所の同好会「農地リフレッシュ」メンバーは、秦野市の「荒廃・遊休地解消対策事業」に協力して、有機的な農作業を実施しました。



北山湿地保全／リコーエレメックス
11月7日、日本の重要湿地500に選定されている愛知県岡崎市の「北山湿地」で、人工林の伐採や片付けなどの活動に社員が参加し、汗を流しました。



白石川河川敷清掃／東北リコー

3月19日、「日本のさくらの名所100選」に選ばれている宮城県柴田町で開催される「しばた桜まつり」に向けた白石川河川の清掃活動に、社員と家族14名が参加しました。



五月山の里山保全／池田事業所、やしろ工場

11月20日、大阪府池田市にある「五月山」の活動に社員と家族が参加。リコー社会貢献クラブ「Free Will」の支援金で購入したテーブルセット2台を展望台に設置しました。



やどりき水源林保全

10月23日、リコー環境ボランティアグループ「やどりき森睦会」の社員と家族17名が「水源林の集い」(神奈川県主催)にパートナー企業メンバーとして参加しました。



沼津千本浜クリーンアップ／沼津事業所

6月27日、静岡県沼津市で行われた「2004フェスタ・コスタ・テル・ゴミIN千本浜」(参加者約800人)に社員25名が参加。海岸に漂着した大量のごみを收拾しました。



伊豆沼・内沼クリーンアップ／迫リコー

3月20日、社員7名がラムサール条約登録湿地であり、白鳥・真雁の飛来地である「宮城県伊豆沼・内沼」の清掃ボランティア活動に参加しました。



秦野雑木林保全

12月12日、「秦野雑木林を守る会」のメンバー5名が「自然いっぱいの雑木林で汗をかこう」と題して、神奈川県秦野市にある「震生湖雑木林」で落葉搔きを行いました。



鳥取砂丘一斉清掃／リコー鳥取グループ

9月26日、「国立公園・鳥取砂丘」の一斉清掃にリコー鳥取グループ社員90名が参加。毎年継続して行われている活動の効果で、年々ごみの量は減少しています。



鎌倉ビーチクリーンアップ

9月19日、鎌倉市「材木座海岸」にリコーグループ社員と家族115名が集まり、ごみ拾いを行った後、サンドクラフトを楽しみました。



獅子ヶ谷緑地保全

2月5日、「獅子ヶ谷緑地保全会」メンバー15名が横浜市の「獅子ヶ谷緑地」で、梅林の枝剪定と樹木の伐採、柵整備などの景観保全活動を行いました。